

2025 年 度

日 本 史

注 意

1. 監督者の合図があるまでは問題冊子と解答用紙を開かないでください。
2. 別紙の解答用紙は、マーク用解答用紙(1)と記述用解答用紙(2)とに分かれています。指定された解答欄をまちがえないように注意してください。
3. 解答用紙(1)は直接コンピューターにかけますので、折りまげたり、よごしたりしないでください。また枠で囲まれた部分以外には記入しないでください。
4. 解答用紙(1)にマークするときは該当する○にはっきりとマークしてください。

マークのしかた (良い例) ●
(悪い例) ⊗ ⊗ ⊗ ⊗

(万年筆、ボールペンなどは使用してはいけません)

5. 解答用紙(1)に誤ってマークした場合には、消しゴムで跡が残らないようにていねいに消し、消しかすをきれいに払ってください。
6. 試験開始後、解答用紙(1)には氏名、受験番号を記入し、さらにその番号をマークしてください。なお、受験番号を記入するときには解答用紙(1)の〔**受験番号記入上の注意**〕をよく読んで、まちがいのないようにしてください。
解答用紙(2)には、氏名、受験番号を記入してください。
7. 試験問題はこの冊子の1～10ページに記載されています。
問題冊子の余白部分は、メモとして利用して構いません。
8. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

1 次の文章を読んで、以下の問に答えなさい。

中世には農業や手工業が発達し、日用品などの商品を交換・売買する場として定期市^aが交通の要地などに開催され、商品を販売する行商人^cの数も増加していった。京都などの都市では、常設の小売店である d-1 も登場し、また京都や奈良などの商人のなかには、座^eを結ぶなどして商業活動を展開するものもいた。当時の貨幣は、中国からの輸入銭^fが用いられ、貨幣経済が発達した。陸上交通路では、京と鎌倉とを結ぶ東海道^gなどが整備され、運送業者も活躍した。また、港湾^gなども整備されて年貢の保管・輸送に従事する d-2 も活躍した。幕府・寺社・公家などは、水陸交通の要地^hに関所^hを設けた。

中世後期になると、経済活動が多様化し、各地に特産物が生まれるとともに港町ⁱ・門前町ⁱ・寺内町ⁱ・城下町ⁱなどが発展した。とくに堺^j・平野^j・博多^jなどは有力町人らによる自治がすすめられ、堺は自治都市としてヨーロッパにも紹介された。

問 a. 下線部 a に関連して、中世には手工業の原料などが栽培された。そのうち和紙の原料として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 苧 ② 桑 ③ 藍 ④ 楮

問 b. 下線部 b に関連して、『一遍上人絵伝』に描かれた福岡市が所在した国名として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 近江国 ② 備前国 ③ 大和国 ④ 信濃国

問 c. 下線部 c に関連して、荷物運搬に用いた木製の背負い道具を用いて行商したものとして適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 大原女 ② 振売 ③ 掛屋 ④ 連雀商人

問 d. 空欄 d－1・d－2 に当てはまる語句の組合せ(d－1・d－2 の順)として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 御厨・問丸
- ② 御厨・供御人
- ③ 見世棚・問丸
- ④ 見世棚・供御人

問 e. 下線部 e に関連した次の史料に関するア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

〔史料〕

e－1 大山崎神人等、公事并に土倉役の事、免除せらるる所なり。将又摂州道祖小路・天王寺・木村・住吉・遠里小野并に江州小秋散在の土民等、恣に e－2 を売買せしむと云々。向後彼の油器を破却すべきの由、仰せ下さるる所なり。仍て下知件の如し。

応永四年五月廿六日

沙弥(花押)

(『離宮八幡宮文書』)

ア 史料中の e－1 には本所の「石清水八幡宮」が、e－2 には灯油の原料である「菜種」が入る。

イ 史料によれば、座に属さない新興商人による灯油の販売を奨励することで灯油の供給を増やそうとした。

- ① ア－正, イ－正
- ② ア－正, イ－誤
- ③ ア－誤, イ－正
- ④ ア－誤, イ－誤

問 f. 下線部 f に関連して、中世の貨幣や貨幣経済に関する説明として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 鎌倉幕府は、宋と国交を結ぶことによって、宋から大量の銅銭の輸入をはかった。
- ② 室町幕府は、日明貿易によって永楽通宝などの明銭を輸入し、貨幣経済に対応した。
- ③ 鎌倉時代には、一般農民のあいだで年貢を銭で納める地下請が普及し、高利貸業者の土倉や酒屋も多く登場した。
- ④ 室町時代には、撰銭令の発布によって取引にあたって良質の銭だけを選び取る行為が奨励された。

問 g. 下線部 g に関連して、1223年頃成立の作者不詳の紀行文で、当時の京都・鎌倉間の東海道を知る史料となっている書物として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 『十六夜日記』
- ② 『庭訓往来』
- ③ 『海道記』
- ④ 『東海道中膝栗毛』

問 h. 下線部 h に関連して、中世に設置された関所として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 兵庫北関
- ② 鈴鹿関
- ③ 新居関
- ④ 不破関

問 i. 下線部 i に関連して、中世の港町・門前町・寺内町・城下町に関する説明として誤っているものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 津軽半島の日本海側に位置した十三湊は、豪族の安藤(東)氏が支配した日本海交易の拠点であった。
- ② 延暦寺・日吉神社の門前町である大津は、馬借・車借の拠点でもあった。
- ③ 越前国の北端に位置した寺内町の吉崎は、蓮如が布教の拠点とした。
- ④ 周防の戦国大名大内氏の城下町である山口には、多くの文化人が招かれて小京都とよばれた。

問 j. 下線部 j に関連した次の史料に関するア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

〔史料〕

堺の町は甚だ廣大にして大なる商人多数あり。此町はベニス市の如く執政官に依りて治めらる。

(『耶蘇会士日本通信』)

ア 史料の書簡では、宣教師のヴァリニャーニが全盛期の堺の様子をイタリアのヴェネツィアにたとえている。

イ 史料中の「執政官」は、「年行司」を指しており、当時の堺は年行司によって自治運営されていた。

- | | |
|------------|------------|
| ① アー正, イー正 | ② アー正, イー誤 |
| ③ アー誤, イー正 | ④ アー誤, イー誤 |

2 次の文章A～Cを読んで、以下の問に答えなさい。

- [A] 3代将軍徳川家光が死去し、4代将軍となった家綱のもとで様々な改革が展開され、幕政は武断政治から文治政治への転換がはかられていった。一方、諸藩も寛永の飢饉が転機となって、藩政の安定と領内経済の発展を課題とする改革を推進した。その藩政改革の代表的な諸藩として、岡山藩・会津藩・加賀藩・水戸藩などがあげられる。
- [B] 11代将軍徳川家斉のもと、老中 d による幕政改革が実施されている頃、諸藩でも改革が実施された。財政再建の一環としての専売制の強化や、有能な人材育成を目的とした藩校の設立などが推進された。その藩政改革の代表的な諸藩として、熊本藩・米沢藩・秋田藩などがあげられる。
- [C] 19世紀前半、諸藩では財政再建、藩権力強化、軍事力強化をめざす改革が取り組まれた。その藩政改革の代表的な諸藩として、薩摩藩・長州藩・肥前藩・土佐藩などの西南諸藩があげられ、改革に成功した西南諸藩は雄藩として、幕末の政局に強い発言力をもって登場することになった。

問 a. 下線部 a に関連して、次の史料は徳川家綱が行った改革の一つに関するものである。この史料に関するア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

〔史料〕

一 跡目の儀、養子は存生の内言上致すべし。末期に及び之を申すと雖も、之を用うべからず。然りと雖も、其父年五拾以下の輩は、末期為りと雖も、其品に依り之を立つべし。拾七歳以下のもの養子を致すに於ては、吟味の上許容すべし。…

寛文三年八月五日

(『御触書寛保集成』)

ア 跡継ぎのいない大名が死にのぞんで急に相続人を願い出る末期養子は、これまでほとんど認められていなかった。

イ 末期養子の禁について、年齢制限を撤廃するなど緩和することで牢人の発生を抑えようとした。

- | | |
|----------------|----------------|
| ① ア — 正, イ — 正 | ② ア — 正, イ — 誤 |
| ③ ア — 誤, イ — 正 | ④ ア — 誤, イ — 誤 |

問 b. 下線部 b に関連して、江戸時代の飢饉のうち、浅間山大噴火や冷害・水害などによって東北地方で甚大な被害を与えたものとして適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- | | |
|---------|---------|
| ① 寛正の飢饉 | ② 享保の飢饉 |
| ③ 天明の飢饉 | ④ 天保の飢饉 |

問 c. 下線部 c に関連して、岡山藩・会津藩・加賀藩・水戸藩の藩政改革に関する説明として誤っているものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 岡山藩では、藩主池田光政が郷校として閑谷学校を創立した。
- ② 会津藩では、藩主保科正之が山崎闇斎から朱子学を学んだ。
- ③ 加賀藩では、藩主前田綱紀が朱子学者の木下順庵を招いた。
- ④ 水戸藩では、藩主徳川光圀のもとで歴史書『本朝通鑑』を編纂した。

問 d. 空欄 d に当てはまる人物として適切なものを，次のうちから一つ選びなさい。

- ① 松平定信 ② 水野忠邦 ③ 田沼意次 ④ 阿部正弘

問 e. 下線部 e に関連して，藩校の名称として適切でないものを，次のうちから一つ選びなさい。

- ① 古義堂 ② 明倫堂 ③ 興讓館 ④ 明倫館

問 f. 下線部 f に関連して，熊本藩・米沢藩・秋田藩の藩主としていずれにも該当しない人物を，次のうちから一つ選びなさい。

- ① 細川重賢 ② 酒井忠清 ③ 佐竹義和 ④ 上杉治憲

問 g. 下線部 g に関連して，19世紀前半の動向Ⅰ～Ⅲを，古いものから年代順に並べたものとして適切なものを，下のうちから一つ選びなさい。

Ⅰ 異国船打払令が緩和され，薪水給与令が出された。

Ⅱ 幕府が松前藩と蝦夷地をすべて直轄にして松前奉行に支配させた。

Ⅲ 大坂町奉行元与力の大塩平八郎が貧民救済のために武装蜂起した。

- ① Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ② Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
③ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ④ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ

問 h. 下線部 h に関連して，幕府も軍事力強化のため伊豆の韮山に反射炉を築造した。その中心人物として適切なものを，次のうちから一つ選びなさい。

- ① 江川太郎左衛門 ② 高島秋帆
③ 近藤重藏 ④ 林子平

問 i. 下線部 i に関連して、薩摩藩・長州藩・肥前藩・土佐藩の藩政改革に関する説明として誤っているものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 薩摩藩では、藩主島津重豪が調所広郷を登用して財政再建をはかった。
- ② 長州藩では、村田清風が中心となって紙・蠟の専売機関として越荷方を設置した。
- ③ 肥前藩では、藩主鍋島直正が均田制を実施するなどして本百姓体制の再建をはかった。
- ④ 土佐藩では、おこぜ組と呼ばれる改革派が支出の緊縮を行って財政再建につとめた。

問 j. 下線部 j に関連して、次の史料は幕末の政局のなかで出されたものである。この史料に関するア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

〔史料〕

徳川内府従前御委任ノ大政返上、將軍職辞退ノ兩条、今般断然^{きこめ}聞シ食サレ候。^{そもそも}抑 癸丑以来未曾有ノ国難、先帝頻年宸襟^{しんきん}ヲ悩サレ候御次第、衆庶ノ知ル所ニ候。之ニ依テ叡慮ヲ決セラレ、王政復古、国威挽回ノ御基立テサセラレ候間、自今撰関幕府等廢絶、即今、先ス仮ニ、j ノ三職ヲ置カレ、万機行ハセラルヘシ。…

(『法令全書』)

ア 史料は大政奉還の上表であり、この上表が徳川慶喜から朝廷に提出されたのち、倒幕派は王政復古の大号令を出した。

イ 史料中の空欄 j には、総裁・議定・参議が入る。

- ① ア — 正, イ — 正
- ② ア — 正, イ — 誤
- ③ ア — 誤, イ — 正
- ④ ア — 誤, イ — 誤

3 次の文章 A・B を読んで、以下の問に答えなさい。

【A】 1941年、第2次近衛文麿内閣は、悪化した日米関係を改善するために、日米交渉^aを行った。しかし、南部仏印進駐が実行されると、さらに日米関係は悪化^bし、アメリカは、在米日本資産の凍結、石油の対日輸出禁止などの措置をとった。その後も日米交渉は継続されたが、第2次近衛内閣退陣後、11月にアメリカ^cが日本に対して、中国を満洲事変以前の状態に戻すなどの提案を行うと、交渉は絶望的になった。このような状況により、日本は、アメリカやイギリスに宣戦を布告し、開戦を迎えた。

【B】 池田勇人内閣^dにおける高度経済成長下での経済の安定をうけて、1964年に成立した 内閣は、7年以上にわたる長期政権を維持した。この長期政権下では、戦後の外交課題の解決に向けた取り組みが次々と行われた。1965年、日韓交渉を進めて を締結し、国交を正常化した。また、1968年には、アメリカとの間で返還協定に調印し、 の返還を実現した。

このような社会状況のなか、国民生活にも大きな変化がもたらされた。1964年の東京オリンピックや1970年に大阪で開催された は、戦後日本の経済復興を国内外に印象づけた。一方で、環境破壊や公害ⁱなどの深刻な社会問題が生じ、政府や各企業はこれら問題の解決に向けた取り組みを求められた。

問1 下線部 a に関連して、以下の問に答えなさい。

- (1) この年、日本は北方の安全を確保することなどをねらい、ソ連と条約を締結した。この条約を何とよぶか答えなさい。
- (2) この年、日本では小学校は に改称され、国家主義的教育が推進された。この空欄に当てはまる語句を答えなさい。

問2 下線部 b に関連して、1940年に駐米大使となり、日米交渉にあたった人物の姓名を答えなさい。

問 3 下線部 c に関連して、以下の問に答えなさい。

- (1) この提案を何とよぶか答えなさい。
- (2) この提案では、満洲国や南京の 政権の否認が要求された。この空欄に当てはまる人物の姓名を答えなさい。
- (3) この提案が行われたときの日本の首相の姓名を答えなさい。

問 4 下線部 d に関連して、以下の問に答えなさい。

- (1) をスローガンとして、経済成長をいっそう促進する政策を展開した。空欄に当てはまる語句を漢字 4 文字で答えなさい。
- (2) 中国のアジア・アフリカ連帯委員会主席と日本の訪中経済使節団長の間で覚書が調印され、これによって始まった準政府間貿易を何とよぶか答えなさい。

問 5 空欄 e に当てはまる首相の姓名を答えなさい。

問 6 空欄 f に当てはまる語句を答えなさい。

問 7 空欄 g に当てはまる語句を答えなさい。

問 8 空欄 h に当てはまる語句を漢字 7 文字で答えなさい。

問 9 下線部 i に関連して、富山県神通川流域で発生した公害病を何とよぶか答えなさい。